

臨床研究のお知らせ

当院では下記の研究を行っております。

研究課題： 認知症病態に関する液性・画像データベース研究

この研究は浜松医大と当院を含めた多施設が参加する多施設共同臨床研究です。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究機関】 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

【研究責任者】 寺田達弘（神経内科）

【目的】 これまで認知症疾患には、髄液検査やポジトロン断層撮影（PET）などの検査が用いられていますが、撮像制限や高いコストおよび侵襲性、検出法の基準の不一致などが原因で、臨床診断用ツールとして広く浸透できていないという現実があります。一方で、近年開発されている血液バイオマーカーは、侵襲性が低く、経時的測定を簡便に行えるという利点を持ちますが研究途上であり診断には応用されていません。本研究の目的は、認知症疾患の早期病態を検出する方法として血液・髄液バイオマーカーおよびPETや頭部MRIによる画像データベースを作成し、認知症の早期の病態を抽出することです。本研究にて、血液検査が認知症疾患の迅速なスクリーニングテストとして臨床診療に応用できる可能性があります

【対象】 当院に通院または入院した認知症疾患患者さんを対象とします。

【方法】 認知症疾患の診断、重症度評価のために、頭部MRI検査（脳萎縮の評価）、[18F]FDG（糖代謝の評価）、[11C]PIB（あるいは[18F]FBP）（アミロイド病理の評価）、[18F]PM-PBB3（タウ病理の評価）を用いたPET計測を行うとともに血液あるいは髄液でそれら蛋白質を定量評価し、その関連を検討します。これらの画像・採血・髄液検査は認知症疾患の病態評価に必要なものであり、本研究のためだけに追加施行しなくてはならない検査はありません。

【個人情報の保護について】 今回の研究による結果は、だれのものかわからないように匿名化し、プライバシーを保護した形で、学会・論文等に発表させていただきます。この研究の対象となられる方で、「ご本人は研究対象から外してほしい」と希望される場合は下記問合せ先までご連絡ください。いかなる場合も不利益を受けることは一切ありません。

【問い合わせ先】 国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター 寺田達弘
静岡県静岡市葵区漆山886 電話番号:054-245-5446（病院代表）